

しちょう はな
市長と話そう！



じっしほうこくしょ
ワークショップ実施報告書



目 次

I	実施 ^{じっし} について	1
1.	ワークショップをした ^{りゆう} 理由	1
2.	参加者 ^{さんかしゃ} と日時 ^{にちじ}	1
3.	話し合 ^{はな あ} いのテーマ	1
4.	当日 ^{とうじつ} の流れと様子 ^{なが ようす}	2
II	実施結果 ^{じっしけっか} のとりまとめ	3
テーマ1.	高砂市 ^{たかさごし} の魅力 ^{みりよく} 発見 ^{はっけん}	3
(1)	はじめて高砂市 ^{たかさごし} を訪 ^{おとず} れた人 ^{ひと} を連れていく場所 ^{ばしょ}	3
(2)	自分のお気に入りの場所 ^{じぶん き い ばしょ}	5
テーマ2.	遊び場 ^{あそ ば} ・地域 ^{ちいき} ・学校 ^{がっこう}	6
(1)	遊び場の困りごと・困りごとを解決するためのアイデア ^{あそ ば こま こま かいけつ}	6
(2)	地域の困りごと・困りごとを解決するためのアイデア ^{ちいき こま こま かいけつ}	7
(3)	学校で受 ^{がっこう う} けたい授業 ^{じゅぎょう} とその具体事例 ^{ぐたいじれい}	8
テーマ3.	居場所 ^{いばしょ}	10
III	参加者 ^{さんかしゃ} アンケート	11
1.	来る前 ^{く まえ} と来た後 ^{き あと} で変わったこと ^か	11
2.	参加 ^{さんか} したことによる“はじめて”	12
3.	今後 ^{こんご} のワークショップへの参加意向 ^{さんかいこう}	13

I 実施について

1. ワークショップをした理由

令和5年(2023年)4月にできた法律「こども基本法」では、こどもに関係する取り組みを決める時は、こども本人の意見を聴くことが決められました。こどもたちが学校や地域、高砂市の取り組みについて、思っていることや意見を聴くするため、ワークショップを実施しました。

2. 参加者と日時

○参加者：市内の小学校及び中学校に通学している小中学生 27人
(内訳)

	小学生					中学生	合計
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	2年生	
13	2	3	2	5	1	14	27

○開催日時：令和6年(2024年)2月3日(土) 10:00~12:00

○開催場所：高砂市役所分庁舎1階 大会議室1

3. 話し合いのテーマ

【テーマ1】高砂市の魅力発見

- ・はじめて高砂市を訪れた人を連れていく場所
- ・自分のお気に入りの場所

【テーマ2】遊び場・地域・学校(グループでテーマを決めて実施)

(遊び場・地域)

- ・それぞれの困りごと
- ・困りごとを解決するためのアイデア(こうなったらいいな)

(学校)

- ・受けた授業
- ・受けた授業の具体例(必要なもの、誰に授業を受けたいかなど)

【テーマ3】居場所

- ・自分にとって「居心地のいい場所」は?

4. 当日の流れと様子

内容	当日の様子
1. 開会	
2. アイスブレイク「ペーパータワー」 30枚の紙を使い、それ以外の道具は使わずに、時間内に一番高いタワーを作ったチームが勝ちというゲームを行いました。	 
3. 進行者、スタッフの紹介	
4. 市長あいさつ	
5. 市の職員紹介	
6-1. ワークショップ① 「高砂市の魅力発見」 はじめて高砂市を訪れた人（①同年代、②夫婦のおじいさん・おばあさん）に対してどこに連れていくか、また自分のお気に入りの場所についてシートに記入し、グループ内で話しました。	 
6-2. ワークショップ② 「遊び場・地域・学校」 「遊び場」「地域」「学校」の3つのテーマについて、グループワークを行い、「遊び場」「地域」については困りごとを、「学校」については受けてみたい授業について、話し合いました。 個人でふせんに困りごと、受けてみたい授業を書いて、その中から1つを決め、その解決策をグループで考え、全体で発表しました。	 
6-3. ワークショップ③「居場所」 保育園の年長（6歳）に対して、居場所についての説明の仕方を発表してもらいました。その後、自分にとって「居心地のいい場所」をシートに書いて、全体で見せ合い紹介しました。	 
7. まとめ・ふりかえり	
8. 市長あいさつ	
9. 閉会	

Ⅱ 実施結果のとりまとめ

テーマ1. 高砂市の魅力発見

(1) はじめて高砂市を訪れた人を連れていく場所

① 同年代の場合

同年代（小中学生）を連れていく場所では、向島公園や市ノ池公園などの自然や公園を答えた人が多く、その他には近くの駄菓子屋や商店街などの商業施設の意見がありました。

場所		意見数
公園 広場	市ノ池公園	7
	向島公園	6
	あらい浜風公園	2
	高砂総合運動公園	2
	その他の公園（むつみ児童公園、中央公園、家の近くの公園）	8
	広場・河川敷	2
神社	鹿嶋神社	3
	曾根天満宮	1
商業 施設	イオン	4
	商店街	2
	その他の商業施設（駄菓子屋）	2
その他	山（高御位山）	1
	はりま自動車教習所	1
	あそべ～や（高砂キッズ・スペース）	1

② おじいさん・おばあさんの夫婦の場合

おじいさん・おばあさんの夫婦を連れていく場所では、自然や公園以外で、鹿島神社や高砂神社などの神社や図書館などの公共施設などの意見が多かったです。

場所		意見数
神社 旧跡	鹿島神社	4
	生石神社（石の宝殿含む）	4
	高砂神社	4
	曾根天満宮	2
	荒井神社	1
	大塩天満宮	1
	工楽松右衛門旧宅	1
公園 広場	市ノ池公園	4
	向島公園	2
	高砂公園	2
	河川敷	1
公共 施設	図書館	6
	市役所	1
	さつき会館	1
その他	商業施設（ショッピングモール、駄菓子屋、イオン）	3
	山（高御位山、竜山）	2

(2) 自分のお気に入りの場所

自分のお気に入りの場所では、自分の通学する学校や図書館などの公共施設、商業施設などの意見がありました。

場所		意見数
学 校	学校	5
神 社	高砂神社	3
	曾根天満宮	3
	鹿嶋神社	2
	生石神社	1
公 共 施 設	図書館	4
	公民館	1
公 園 広 場	市ノ池公園	1
	中筋公園	1
	第2公園	1
	あらい浜風公園	1
	家の近くの公園	2
	加古川	1
商 業 施 設	クランベリー	3
	カラオケ	2
	ゲームセンター	1
その他	自宅	2
	おばあちゃんの家	1
	山（亀山、生石）	1
	リーダー研修会	1

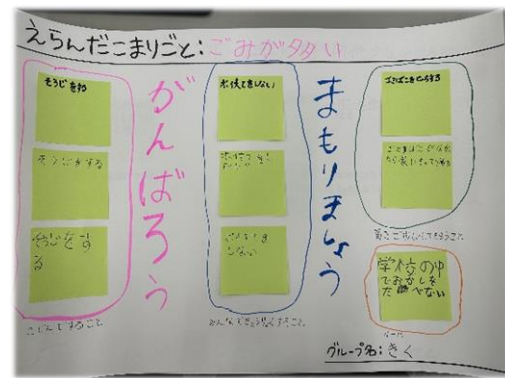
テーマ2. 遊び場・地域・学校

遊び場・地域・学校について、それぞれグループで話し合うテーマをくじ引きで選び、グループでそのテーマの困りごと、学校については受けた授業を話し合いました。その中から、“困りごと” “受けた授業” を1つ決めて、解決策や具体例についてアイデアを出し合いました。

(1) 遊び場の困りごと・困りごとを解決するためのアイデア

グループ①：きく

困りごと	ごみが多い
困りごとを解決するためのアイデア	
《個人ですること》 ・掃除をする 《みんなで協力すること》 ・ポイ捨てをしない ・ごみ箱がなかったら家に持って帰る 《高砂市にしてもらうこと》 ・ごみ箱を設置する 《ルールを決める》 ・学校の中でお菓子を食べない	



グループ②：ぼっくりん

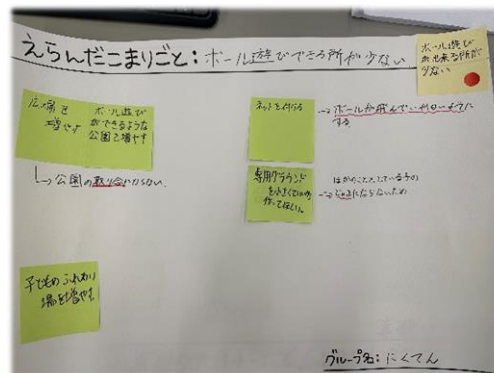
困りごと	トイレがない
困りごとを解決するためのアイデア	
集めたお金の余りのお金でトイレをつくる ↓ ボランティアの人を募集する ↓ トイレ作りの専用ボランティアをつくる ↓ トイレをつくるための広場をつくる ↓ 公園に1つずつトイレがほしい ↓ トイレを作る (洋式優先)	



(2) 地域の困りごと・困りごとを解決するためのアイデア

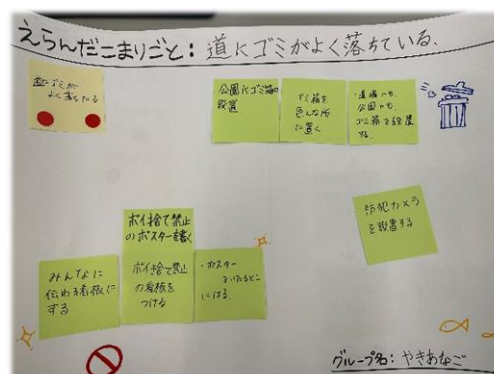
グループ①：にくてん

困りごと	ボール遊びができるところが少ない
困りごとを解決するためのアイデア	
・ 広場を増やす、ボール遊びができるような公園を増やす ⇒公園の取り合いにならない ・ こどものふれあいの場を増やす ・ ネットを付ける ⇒ボールが飛んでいかないようにする ・ 専用グラウンドを小さくても良いから作ってほしい ⇒他のことをしている子の邪魔にならないため	



グループ②：やきあなご

困りごと	道にゴミがよく落ちている
困りごとを解決するためのアイデア	
《ゴミ箱の設置》 ・ 公園にゴミ箱の設置 ・ ゴミ箱を色んな所に置く ・ 道端にも公園にもゴミ箱を設置する 《カメラの設置》 ・ 防犯カメラを設置する 《周知》 ・ みんなに伝える看板にする ・ ポイ捨て禁止のポスター・看板をつける ・ ポスターをいたるところに貼る	



(3) 学校で受けた授業とその具体事例

グループ①：かしわもち

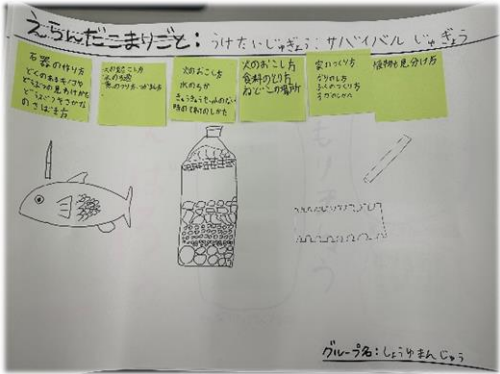
受けた授業	政治
受けた授業【政治】の具体事例	
《誰に》 - 議員の人に教えてほしい - 大臣を迎える 《何を》 - 選挙の仕方について - 難しい言葉の勉強 〇〇するために必要なお金 - 公共施設を作る決め方・設計の仕方 - 交通ルールについて - お金の動き方 - 姉妹都市などについて、外国との関係 - 法律の作り方 - 政治の心得 など	

グループ②：いかなご

受けた授業	アスリートによる授業
受けた授業【アスリートによる授業】の具体事例	
《誰に》 - 陸上選手（小さい時に走り方を学ぶことがなかったから） - 実業団の選手 - プロの選手 - テニスのアスリート - 大谷選手 《何を》 - スポーツの楽しさを学ぶ - 高砂市のこどもの現状を知ってもらう。 《必要なもの》 - 広い場所 - スポーツの道具	

グループ③：しょうゆまんじゅう

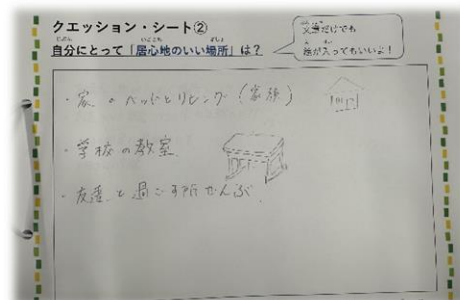
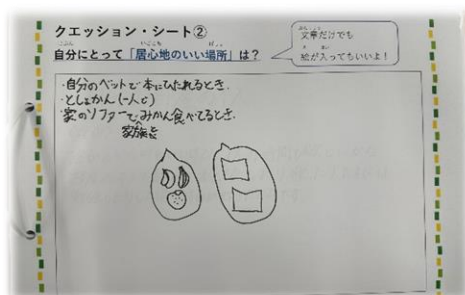
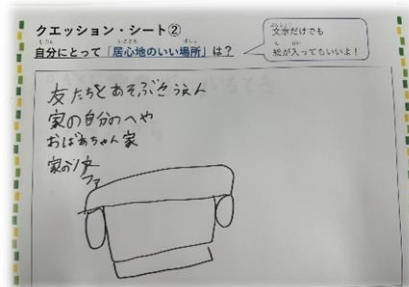
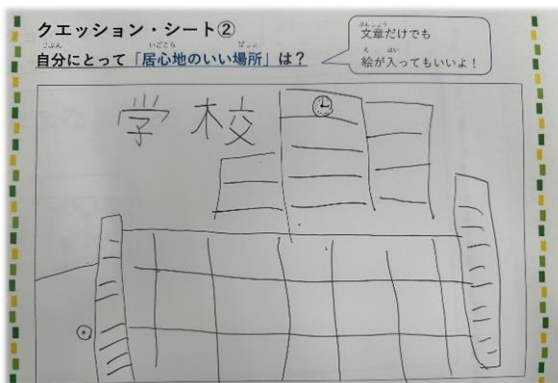
うけたいじゅぎょう	サバイバルじゅぎょう
うけたいじゅぎょう【サバイバルじゅぎょう】の具体事例	
《何を》 ・石器の作り方 ・毒のあるキノコや動物の見分け方 ・動物や魚のさばき方、狩りの仕方 ・火の起こし方 ・水のろ過 ・魚の釣り方・捕まえ方 ・救急セットのない時の手当ての仕方 ・寝床の場所 ・家の作り方 ・服の作り方 ・植物の見分け方 など	



テーマ3. 居場所

自分の「居場所」については、自宅や自分の部屋、学校、公園などの“場所”を書いている人や、友だちと一緒にいるとき・笑っているとき・話しているときや、一人で作業をしている時など、“(好きなことをしている) 時間”を書いている人がいました。

居場所		意見数
場 所	自宅・自分の部屋	16
	祖母の家	4
	友だちの家	2
	学校 (教室、校庭)	5
	公園	3
	習い事の教室	2
	商業施設 (コンビニ、飲食店、駄菓子屋)	1
	公共施設 (公民館)	1
時 間	友達と話をしているとき	9
	一人で何かに夢中になっているとき (プラモデル、読書など)	4
	ペットといるとき	1
	コミュニケーションがとれる場所	1
	自分が「自分らしく」いられる場所 (自然にいられる場所)	1



Ⅲ 参加者アンケート

1. 来る前と来た後で変わったこと

参加することで、「高砂市のことをよく知れた・好きになった」や「知らない人とたくさん話せるようになった」などの意見が多かったです。

具体的な回答（基本的には記入いただいた内容のまま掲載）

- 今日は、コミュニケーションを取る大切さがあまり分からなかったけど、コミュニケーションを取る大切さを知る事ができました。
- 来る前はきんちょうしていたけど、後半になってきて楽しくなってきた。
- 来る前はきんちょうしていたけれど、さいごらへんにはきんちょうがほぐれた。
- じぶんの住んでいるところと、ほかの人が住んでいるところとで同じようなところとちがうところがあったことを知った。
- たのしかった。はっぴょうできた。知らない人とおはなしできた。
- 高砂市のことをしれた。高砂のことがしりたくなった（もっと）。はなさない人とおはなしができた。
- ふだん話さない人と仲よくなった高砂市が今までより好きになった。知らない大人とも仲よくなって楽しかった。
- 高砂市のことをよく知れた。市長と話ができた。
- あまり会ったことがない人、知らない人でも、今日、仲良くなりました。
- 高砂市のことをよりくわしくしれた。
- 高砂市のことでも知らなかったことを知った。
- 自分が知らない高砂市の名所とか、公園、神社を知れたのがよかった。市長さんとも話せて、高砂っていい町？だと思えた。
- 自分の住んでいる市のことを考えるって楽しいなと思うようになった。どんな人がいるのか緊張していたけど、みんなニコニコで優しいなと思った。行ってみたいところが増えた。
- 知らない人と少しでも話せるようになったこと。
- 知らない人とたくさんしゃべることができた。
- 一番は知らない人と意見を出し合って交流することで、仲良くなれたことです。これからの高砂市をつくりあげていくためにどうすればいいか、それを深く考えることができました。
- 高砂市の取り組み、問題についてよく知ることができた。高砂市が問題に取り組む姿勢を知れた。
- 自分の住んでいる町のことをよく考えたことがなかったけど、どんなことをすれば高砂市が盛り上がるのかということをも自分なりに考えられた。
- 普段、会ったり、話さない人と話すことができた。知らないことや場所をいくつか知れた。
- 自分があまり知らなかったこまり事や、他の人の意見を知って、高砂市は今こうなっているんだとわかった。
- 自分以外の人の住んでいる地域についてよく深く知れた。聞いたときに、「あっ、こんな問題があるんだ。」と感心した。地域の問題を解決しようとする気持ちが上がった。
- 高砂市にはまだまだ行ったことのない場所がたくさんありました。また行ってみて、どのようなことをすれば楽しいのか考えてみようと思います。
- 行ったことのない学校の人たちと話のできたので良かった。市長さんと面と向かって話せた。
- はじめて会った人と色々な意見を出して喋ることができた。高砂市のことを今までよりもっと知る事ができた。
- としが離れている子と遊ぶこと以外で話したからみんなしっかりしてるなと感じました。
- 上の学年と仲よくなった。市長と話した。
- いろんな人と交流できた。

2. 参加したことによる“はじめて”

参加したことによる“はじめて”は、「高砂市（まち）のことを考えた・こんなまちになれば良いなどはじめて考えた」などの意見が多く、高砂市のことを考えるきっかけとなった人が多いとわかりました。

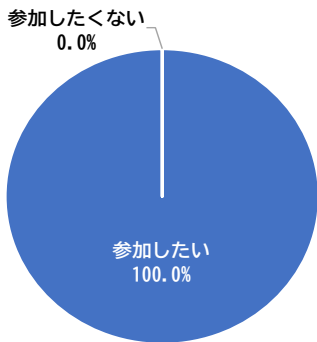
具体的な回答（基本的には記入いただいた内容のまま掲載）

- 高砂市のことをとても深く考えた。はじめての人と話すことができました。話す自信を持つことができました。
- 市長の顔を知った。
- 市長とはじめて会った。
- 市役所にはじめてきた。
- 市役所にはじめてきた。ペーパータワーでゆうこうかんけいをはじめてやって、たのしかった。市長のかおをはじめてみた。
- はじめて町のことをがんばりました。
- まちのことをかんがえた、もっと高砂がすきになった。
- 市長さんとはなせてうれしかったです
- まちのことや学校のことを考えた。
- 「高砂市がこんな町になったら良いな」とはじめて思いました。もっと高砂市が良い町になると良いなと思いました。
- 町のことはじめて考えて楽しかった。
- はじめて市長さんとはなせた。
- 他校の同い年の子と話せて、仲良くなれた！色々な意見をみんなで共有することができた。
- 知らない人と急に話し合いをしたこと。高砂市のことをよく考えたこと。色々な大人のお仕事があると知ったこと。
- 市の困っていたことを話せたこと
- 高砂市を、もっと深く知ることができた。市長のトークさんとしゃべることができた。
- 初めて高砂市をよくすることについて考えられました。人によって意見が大きく違うということについて気付きました。知らない人と話すところにも視野が広がるのだと分かりました。
- はじめて市長と話し高砂市について意見交換ができた。はじめてワークショップに参加することができた。
- はじめて他校の人と協力して、意見交換をした。
- 今まで考えてこなかったようなことを考えられた。色々な人の意見を聞くことができた。
- 初対面の人達と話せてこういう人がいたと気付けた。他の人と話し合うことで視野が広がった。
- いろいろな人から高砂市の魅力を聞いた。はじめて会った人でもとてもフレンドリーな方々だったので仲良くできた。
- 高砂市には良いところもたくさんあるけれど、もっと良い高砂にするにはどうすれば良いのかを考えました。
- 町の不便だと思う所を人に言ったこと。そしてその不便と思う所をどう改善するかを考えたと。市長と話せた！
- 今までより、町のことを考えるようになった。市長とはじめて会うことができて話せた。
- 市長の都倉さんに会えた。
- 自分のいばしょを考えた。
- 初めてみんなが高砂市をどう思っているかしれた。団結できた初めてのイベント。

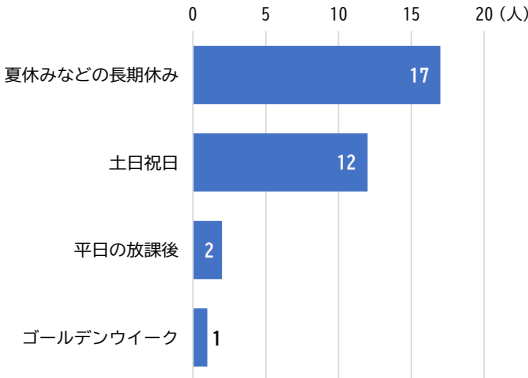
3. 今後のワークショップへの参加意向

参加者全員が今後もワークショップに「参加したい」と回答しており、土日祝日や長期休暇中の実施を望む人が多かったです。

《今後の参加意向》



《参加しやすい時期》



また、話したいテーマについては、高砂市の未来や歴史・文化など、高砂市のことをもっとたくさん知りたいと答えた人が多かったです。

具体的な回答（基本的には記入いただいた内容のまま掲載）

- 高砂市についてたくさん知ろう！
- 遊び場、交流できる場所！
- 給食について
- 給食の味
- 高砂市に生きているものについて！食べ物にまつわること！
- 大きな公園を作りたい
- 自然
- できてほしい何か キレイな自然環境のこと
- ちがうまちのこともきいてみたい
- ちがう国のことを知りたい
- ちがうまちについてきいてほしい
- 学校、地域
- 高砂市全体の問題
- 各学校の取り組み 今回のテーマ1つだけを全員で話し合う
- 高砂市内で行われているようなこと
- 今日やった内容が一番だと思います
- 高砂市をもっと良くするにはどのようにすれば良いのか
- 高砂の未来について
- 高砂市のいいところ
- 改善できそうな施設について話す
- 職業説明会
- 市長質問
- 今回のような感じがいいです
- 高砂市の文化や、歴史が大好きです
- 高砂の文化や歴史
- 高砂市の文化や歴史

